

胸が張り裂ける

Jonathas de Andrade

Directed Games 《導かれたゲーム》

音と映像のライブ・セッション ワークショップ

2020年Hamacho Liberal Artsでオンラインレクチャーを行ったアーティスト、ジョナタス・デ・アンドラーデさんの来日に伴い、映像作品「Directed Games 《導かれたゲーム》」に関するワークショップを行います。作品に効果的に使われている音とリズムを映像に合わせて実際に奏することで、手話とジェスチャーによって表現される世界観をより身近に体感することを試みます。今回、本作品の音楽監修を行ったホメロ・バジリオさんも来日、ホメロさんのディレクションにより身体の鼓動を敏感に感じながら、楽器に限らず、音が出るものを使って、この場にしかないサウンドデザインを行います。二回のワークショップの後には、「Directed Games 《導かれたゲーム》」が展示作品のひとつとして上映されている、東京都現代美術館で開催中の「日常のコレオ」展の関連企画として公開セッションを行います。

Jonathas de Andrade

1982年マセイオ（ブラジル）生まれ、レシフェ（ブラジル）拠点。写真、映像、インスタレーションを横断しながら、ブラジル北東部の社会的現実を軸に複層的な植民地支配の歴史や、根強く残る不平等と排除の構造を問い直し、支配的な物語や表象のあり方を批評的に検証している。

Homero Basílio

ブラジル、レシフェ出身。パーカッショニスト、作曲家、音楽プロデューサー。伝統と現代音楽を掛け合わせる音楽的素養は、ブラジル北東部の民俗音楽から電子音楽、ロックまで多岐にわたる。

Hamacho Liberal Artsとは

o+h主宰の浜町 LAB. 1階（東京都中央区日本橋浜町 3-10-1）にて不定期で行っている勉強会。様々なトピックに対して、創造的な方法で向き合っている世界中の造形作家、デザイナー、建築家、編集者、キュレーターなどの作り手とつながり、彼らのプロジェクトとプロセスを共有し、その内容について対話をする。普段、専門分野で分断されがちな視野を広げ、表現されたものに反応することで、社会と創造的に関わる姿勢について様々な立場の人々が何度も学び直すことができる場所を目指している。（助成 公益財団法人 窓研究所）

ワークショップの参加者を募集します

下記をご確認のうえ、ご希望の方は下記QRコードからご応募ください。

- ・楽器一点と、身の回りにある音を奏でられる日用品（金属製や木製の製品、叩くことで音が出るものなど）を一点、ご持参ください。
- ・できるだけ3日ともご参加ください。（協力 GAKU）

